



この「里山地区」には、薪を採り炭焼きをしていた雑木林や、100年程前に植えられたスギ林があり、尾根には馬が荷を引いた里道、谷あいにはため池や棚田の跡も残っています。

みちのく公園ではこの「里山地区」を、釜房湖という仙台市の水源を涵養するかけがえのない森であると捉え、その健全化のための樹林管理を行うとともに、人と自然とのかわりが培ってきた里山の自然や文化を保全、継承し、今日に活かすことを目指しています。



カタクリ



カタクリ

3月23日(土) 曇り キノコのコマ打ち！

春は三寒四温といいますが、昨日と打って変わって今日は肌寒いほどです。でも春がそこここに…園路沿いにはフキノトウ、早速、天ぷらで春の味覚。カタクリの花はもう少しかかりそうです。

いろいろな里山遊びをしました。
前回作った竹のジェットコースターは快調！風を切って滑りました。松ぼっくりを拾って、お花炭を焼きました。
ハンモックで揺られたりもしました。

里山遊びいろいろ！



キノコのコマ打ち！

浅い春、里山の活動はキノコのコマ打ちです。キノコはシイタケ、ヒラタケ、ナメコの3種類。それぞれに合う木を伐採して、玉切りをしておきました。コナラ、クヌギ、サクラです。ホダ木に専用のドリルで穴をあけ、そこにキノコのコマを木槌で丁寧に打ち込みます。



春の味覚！

昼食は、飯ごう炊飯、去年収穫したヒラタケの豚汁、途中で収穫したフキノトウの天ぷらでした。
デザートにマシュマロを焼いて食べました。

春の天ぷら



マシュマロ焼き

